

各班の検討内容（続き）

5
班

本町通り 通学路であることや利便性を確保するために「相互通行 速度抑制（低）」が良い。現実的に速度抑制効果がありそうな「相互通行 速度抑制（高）」が良い。

その他 デイサービスの車両や高齢者がどう思うかも大事な検討の視点である。



道路の整備イメージに関する意見

舗装の種類 丈夫な舗装，透水性のある舗装，美しい歩道が良い等

舗装の色 落ち着いた色，明るい色，路肩と車道の色を切り替える等

照明等 電柱等を整理する必要がある，半どん夜市用のポールが必要，和風の照明が良い等

※相互通行 速度抑制（低）
車線幅の縮小や美装化等により、歩行帯の確保や速度抑制を促す

※相互通行 速度抑制（高）
部分的に狭さくやハンプ等を用いて、上記よりもさらに車が通行しにくい形状を創出し、歩行者のための空間を創出する

今後のスケジュール

今後は以下に示したスケジュールで検討を進めていきます。

	主な検討内容	
ワークショップ 第1回 8/6（土）	～これまでのまちづくりの検討内容と地域課題～ ・これまでの検討の経緯について、まちづくりの課題と将来像の共有 ・西国街道・本町地区街なみ環境整備事業整備方針について	済
ワークショップ 第2回 9/22（木）	～将来像実現に向けた道路のあり方の検討～ ・実験前の交通実態調査結果について ・道路整備のパターン、整備イメージの検討	済
10月中旬	アンケート調査	
ワークショップ 第3回 11/25（金）	～実験テーマ決定・実験内容検証のための調査内容の確認～ ・道路形態及び整備のイメージ化（3Dモデルの活用） ・社会実験の内容検討、まちづくりに関するアイデアの検討、調査内容の確認	
住民説明会 12月	～社会実験内容の地域共有～ ・社会実験の必要性、内容について地域の方へ事前説明	
1月下旬	社会実験実施・アンケート調査	
ワークショップ 第4回 2月中旬	～とりまとめ案の提案～ ・実験結果の報告 ・実験結果を踏まえた道路の整備パターン、整備イメージ案のとりまとめ	
住民説明会 3月上旬	～社会実験結果の報告・整備計画の地域共有～ ・実験結果の報告 ・実験結果を踏まえた整備計画（CIMモデル）、整備スケジュールの説明	

問い合わせ・連絡先

〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号
三原市 都市部 都市開発課 担当：宮岡，柳光（りゅうこう）
電話：（0848）67-6113 F A X：（0848）64-6057
E-mail：toshikaihatsu@city.mihara.hiroshima.jp

道路整備に関わるご意見等も、お寄せください

西国街道・本町地区
まちなみづくり通信 第11号

『本町通りと宗光寺小路のあり方検討ワークショップ』

令和4年10月 発行：三原市都市部都市開発課

アンケート調査を実施します。

本町と駒ヶ原町のみなさんを対象として道路の整備についてアンケート調査を実施します。本町通りと宗光寺小路等の道路の整備方針案を本市が作成する上で、より多くの方の意見を参考にしたいので、アンケートへのご回答にご協力をお願いします。アンケートは10月中旬に郵送します。10月28日までが投函締切となりますのでご協力よろしくお願いします。

第2回ワークショップを開催しました。

本町通りや宗光寺小路等の道路等の施設整備に取り組むため、9月22日（木）に2回目のワークショップ（全4回を予定）を開催しました。

今回のワークショップでは、7月に行った交通量調査の報告や県立広島大学の吉田先生よりご講演をいただき、その後、5つの班に分かれて道路整備に関する意見交換を行いました。今回はその様子をご報告します。

この意見交換とアンケート調査の結果を踏まえ、第3回ワークショップでは道路の通行形態やデザイン等のイメージ化（3Dモデルの活用）、社会実験の内容等を検討します。

第2回 ワークショップのプログラム

日時 令和4年9月22日（木）18：30～20：30

会場 サン・シープラザ 4階 第3研修室

参加者 住民・関係団体の皆さん26人，三原市4人，進行役6人

イントロ

1. 主催者あいさつ（三原市）
2. ワークショップの目的，全体スケジュール
3. 本日の進め方の説明



第1回ワークショップと交通量調査結果の確認

1. 第1回ワークショップの検討結果の確認
2. 交通量調査結果の確認（7月実施分）



講演「本町通りの未来」 県立広島大学 吉田倫子先生

道路の整備パターンの検討

- ・通行形態（相互通行，一方通行等）に関する意見交換
- ・自動車の速度抑制手法に関する意見交換

道路の整備イメージの検討

- ・道路整備イメージ（舗装の種類・色，照明等）に関する意見交換
→舗装，色，路肩と車道の切り替え等について意見交換を行う。

検討内容の確認

- ・各班発表・総評
（各班の検討内容の共有，総評（吉田先生），次回の予定，内容）

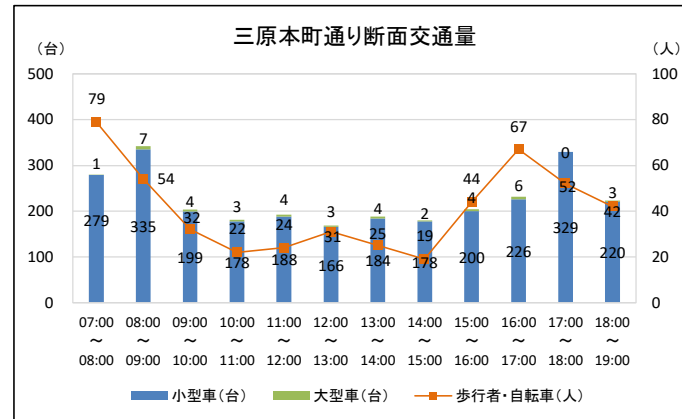
閉会あいさつ（三原市）

交通量調査結果の確認（7月実施分）

7月12日（火）の平日と7月17日（日）の休日に本町周辺の8か所の交差点で交通量調査を行いました。ここでは7月12日の一部の内容について提示します。

交差点・時間帯別交通量

- ・本町通りの交通量は、2,723台/12時間で、朝は8時台、夕方は17時台がピークになっている。
- ・歩行者・自転車通行量は、朝は7時台、夕方は16時台がピークとなっている。
- 周辺の学校施設への通学、三原駅への通勤によるものと考えられる。



※小型車：乗用車、小型貨物車 大型車：バス、普通貨物車

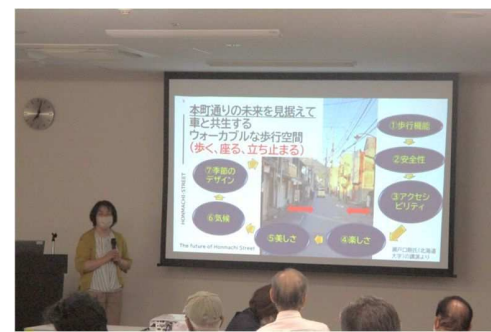
- ⇒自動車と歩行者等の交通量のピークがほぼ重なっているため、歩行者への配慮が必要
- ⇒例えば一方通行や歩行者専用道路にしても周辺の道路で許容可能

交差点・方向別交通量

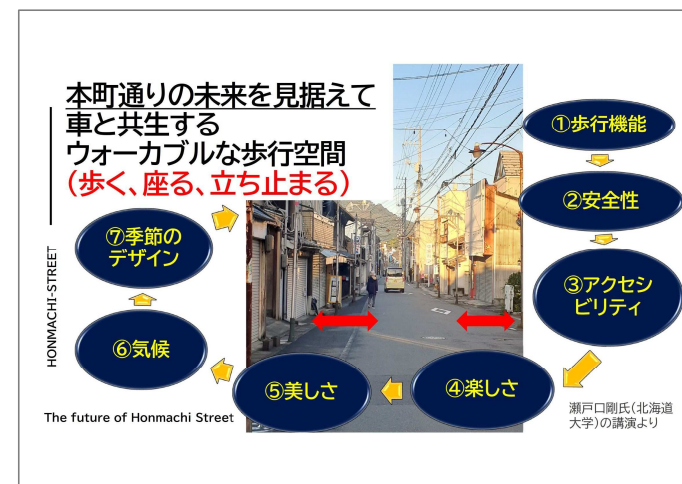
- ・本町通りに入ってくる交通は、西町側からが6割程度を占める。
- ・本町通りは、西から東に向けて通行する交通量がその逆の交通量よりも3割ほど多い。
- ⇒西町側からの交通量が多く、市中心部の東西の移動の抜け道として使われている可能性が高い

講演「本町通りの未来」

県立広島大学の吉田先生より、「道路は単に人が歩き、車が走る場ではなく、人が座ったり、立ち止まったり、車が停車したり、駐車したりする空間である。車と共生するウォークラブルな歩行空間となるために、本町通りの場合は「路肩」をどのように位置づけるのが大事になると思う。」とアドバイスをいただきました。



講演の様子



講演の配布資料より

各班の検討内容

5つの班にわかれ、各班で「宗光寺小路」、「本町通り」、「三原曲がり（仮称）」の3つの区域の道路整備パターン（通行形態、速度抑制手法）、道路整備イメージ（舗装の種類・色、照明等）について意見交換を行いました。どの道路整備パターンが良いか班ごとに絞り込みをしましたので、これに関する意見を紹介します。

1班

宗光寺小路 景観の形成・保持のために「相互通行 速度抑制(低)」が良い。

本町通り 歩行者の安全性の確保、車と人との共存のために「相互通行 速度抑制(低)」が良い。又は大型車が多いと感じることから「一方通行」が良い。

三原曲がり 他の路線と合わせた「一体的な整備」が良い。



2班

本町通り 歩行者を最優先とするために「一方通行」が良い。歩行者だけでなく、商売している人も大事であるから安全性の確保、車と人との共存のために「相互通行 速度抑制(高)」が良い。

その他 水路の処理機能が低いので改善すべき。



3班

宗光寺小路 景観の形成・保持や人が歩ける部分を確保するために「相互通行 速度抑制(低)」が良い。

本町通り 歩行者の安全性の確保、車の走行性も確保した「相互通行 速度抑制(低)」が良い。

三原曲がり 城址公園と一体的な空間とするために「相互通行 速度抑制(低)」が良い。



4班

宗光寺小路 現状の利便性を確保するために「相互通行 (現状)」が良い。

本町通り 歩行者の安全確保や速度抑制が必要であるため、「相互通行 速度抑制(低)」が良い。

三原曲がり 現状で通過する車の速度が速くないので「相互通行 (現状)」が良い。

